

2021年 10月

あさかぜ保育園子育て支援だより 10月

「子育て支援だより」を書き初めて10月で1年となりました。毎月なにを掲載しようかと自分の若かりし頃の子育てと(失敗談が多かったかな 笑)色々な先生方の意見を参考に、私なりの子育てについての思いを書いてきました。(子育てには何が必要かを発信してきたつもりです。)稚拙な文章にお付き合いくださいまして、ありがとうございました。中には、これで終わりかとお思いの方も・・・だがしかし、またまた始まります！お付き合いよろしくお願いたします。(笑)

今年度もコロナの関係でオリンピックではありませんが、無観客での運動会となりました。子どもたちの成長した表情や姿を直接観ていただけないのは大変残念でした。しかし、保護者の皆様には運動会の様子を画面で観ていただけるように園は準備をしています。しばらくお待ちくださいね。

子どもたちの運動会での様子は画面の中に思い出として残り、何回も観れる事は良いのですが・・・子どもたちが目の前で一人ひとりが「やりきったぞ！」という姿。毎日、少しずつ積み重ねてきた動き(特に年長さん)を保護者の皆様に観ていただけなかったことは大変残念に思っています。(担任からは子どもたちの成長を日々聞かれているかと思えます・・・)

子どもたちの、成長は気持ちがいいとすごいですよ。特に、**ほめる言葉**をかけると自信に繋がるのでしょね。昨日出来なかった跳び箱が飛べたり、待つ姿勢が変わったり、応援する姿が真剣になったり・・・等など沢山の場面が見られました。

日々の保育でも感じていることですが、子どもたちに掛ける言葉が肯定的であればあるほど、子どもは、すくすくと伸びていくように感じています。

お家でも、**肯定的な言葉**(すごいね！やったね！ありがとう、たすかったよ！等)を増やすようにしてみてください。

ある先生は「**ありがとう**」は、最高のほめ言葉だとも言われています。なんでもない一言ですが日常生活の中では、つい当たり前で何も言わずに過ごしてしまうことはないでしょうか？「ありがとう」と言われて、腹が立つことはないですよ。ちょっとしたことでも「ありがとう」を言うようにしてみませんか。家庭内が少しでも軟らかい雰囲気に入れ、安らぎの場になるのではないのでしょうか。

私たち周りの大人が、ほめたり・叱ったりするのは子どもに悪い行いをやめさせ、正しい行い(大人の視点からみた)を見に付けさせるため。

社会に出て、少しでもスムーズに馴染んでもらいたいためですよね。子ども自ら学んでいけばよい事なんですが、親心です。子どもには「何よりも幸せになってほしい！」という強い思い・・・。

そのためには、私を含め周りの大人は自己肯定感が身につく言葉をしっかり子どもたちにかけていきましょう。子どもらしい自信に満ちた笑顔や素直な行動が、どの年齢の子どもに見られるようになるのではないのでしょうか。切に願っています。

今年度も無観客の運動会となりましたが来年こそは、保護者の皆様と一緒に子どもたちの躍動する姿を応援したいですね！！

今月は、ここまで・・・。

子育てが終わった ばあ～ばより

\*年長児 消防ヘリ見学の絵\*

